

地域計画

策定年月日	令和7年3月18日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大野市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	伏石 (伏石)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）		24.3 ha
①	農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.3 ha
②	田の面積	24.3 ha
③	畑の面積（果樹、茶等を含む）	0 ha
④	区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤	区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.2 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計		ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計		ha

（備考）

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5: (参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6: 「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業の後継者がいない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

効率がよく耕作できるよう、農地の集約を検討する。
作物の生産については、水稻を中心とし麦、ソバ、大豆やサトイモをはじめ、大野市や福井県が推進する作物の栽培に取り組む。また、飼料用米の栽培にも取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

担い手への農地の集積・集約を基本として、農業を担う者による農地利用を進める。

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	64.4	%	将来の目標とする集積率
			64.4 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地の団地化について検討する。			

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手が利用する農地の団地化について検討する。

別紙1

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状		10年後				備考
		経営作目等	経営面積 (ha)	経営作目等	経営面積 (ha)	作業受託	目標地帯	
1	田嶋 孝一	水稲+麦+ソバ	11.9	水稲+麦+ソバ	11.9	—	A	
2	水稲+麦+ソバ	1.7	—	—	—	—	B	
3	水稲+麦+ソバ+野菜	1.5	—	—	—	—	C	
4	水稲+野菜	0.6	—	水稲+野菜	0.6	—	D	
5	水稲	0.1	—	水稲	0.1	—	E	
6	水稲	1.7	—	水稲	1.7	—	F	
7	水稲	0.7	—	水稲	0.7	—	G	
8	野菜	0	—	野菜	0.1	—	H	
9	水稲+野菜	0.3	—	水稲+野菜	0.3	—	I	
10	水稲+野菜	0.3	—	水稲+野菜	0.3	—	J	
11	水稲+ソバ	2.5	—	水稲+ソバ	2.5	—	K	
12	水稲	0.5	—	水稲	0.5	—	L	
13	水稲	0.3	—	水稲	0.3	—	M	
14	水稲+野菜	0.7	—	水稲+野菜	0.7	—	N	
15	野菜	0	—	野菜	0.1	—	O	
16	水稲	0.5	—	水稲	0.5	—	P	
17	水稲+野菜	0.5	—	水稲+野菜	0.5	—	Q	
18	水稲+野菜	0.5	—	水稲+野菜	0.5	—	R	
19	野菜	0.1	—	野菜	0.1	—	S	
20	水稲+ソバ+野菜	0.7	—	水稲+ソバ+野菜	0.7	—	T	
合計	20経営体	24.3		24.5				

083 伏石

